

PixDiff 解説

Version 1.26

2017 年 3 月 7 日

【概要】

pixDiff2 枚の画像を、画面で比較するためのソフトウェアです。画像ファイルにレタッチやフィルタリング、圧縮などの処理を施した後で、その効果を視覚的に比べるツールとして開発されました。

【動作環境など】

Windows x64 7/8/8.1/10 で動作確認。

日本語、英語が使用可能。メニュー、インターフェースの言語はインストール時は日本語に設定されていますが、環境設定で英語のに切り替えることもできます。

画像の読み込みには、ImageMagick のライブラリ Magick++を使用しています。200 種類以上の画像フォーマットに対応しています。

【使用条件など】

pixDiff は、Windows で動作するフリーソフトウェアです。

本ソフトウェアは無償で配布していますが、著作権は PixTOPO に属しています。

ソフトウェア本体やドキュメント類を掲載、紹介、するさいは、作者にご連絡ください。

本ソフトウェアを使用したことによって生じたいかなる損害についても作者は責任を負わないものとします。

開発者: PixTOPO(Pixel Topography Group)

ウェブサイト: <http://pixtopo.zashiki.com>

連絡先: pixtopo@gmail.com

【ダウンロード】

本ソフトウェアの最新版は、下記より入手できます:

- PixTOPO ウェブサイト <http://pixtopo.zashiki.com>
- Vector ソフトウェア・ライブラリ: <http://www.vector.co.jp/soft/winnt/art/se506952.html>

【開発記録】

pixDiff は Visual C++ で開発しています。

pixDiff の全ソース・コードは sourceforge のリポジトリで公開しています: <https://sourceforge.net/projects/pixdiff>

pixDiff の開発に当たり、下記のソフトウェア、ライブラリー使用しています:

- Magick++ - ソフトウェア・スイート ImageMagick 開発者用 API ライブラリー [[ImageMagick Studio LLC](#)]
- Qt - ユーザー・インタフェース開発用フレームワーク [[The Qt Company](#)]

【開発履歴】

- 2014 年 6 月 13 日 1.17 - 一般公開開始
- 2016 年 2 月 7 日 1.23 公開
- 2017 年 3 月 2 日 1.25 公開
- 2017 年 3 月 9 日 1.26 - 画像ファイル名、パス名に日本語が入っているとエラーになる問題を修正